

今こそ協会の出番

会員のお力で さらに大きな組織へ～

岡山支部1月理事会から

政治経熱」から政治経
冷」に進むのではと心配さ
れる日本と中国の現在の政
治状況です。それを反映し
てか、マスメディアの世論調
査などでは「中国が嫌い」と
する市民が増えているとも
伝えられています。

しかし一方で、これではい
けないと考える人たちが増
えていることも確かです。

中国帰国者の問題を訴え
る集会に参加して、日中間
題の大事さに気づき、すす
んで入会する方が出たり、
日本語教室の取り組みのな
かで、これまた自主的な入
会者が出るなど、私たちの
活動が大いに励まされる出
来事がつづいています。

この一年を組織的にふり
返ると、退会者が三十人、
入会者が三十四人と、入退
会の数がほぼ並んでいるのが
現状です。理事会は、さら
に岡山支部を大きく前進さ

せるには、会員の皆さんお
一人おひとりの力にすが
ることこそが大事だと考え
るにいたりしました。

一昨年、支部の財政運
営の苦しさを、ニュースを通
じて率直に訴えたことがあ
りました。その結果、いち
どきに前納する方が増え
て、いっきよに運営が改善
され、それは現在もつづい
ています。会員のみなさん
のご協力が、こんな大きな
力を生みしました。

会員に支えられていてこ
そ協会が存在する。こん
なごく当然なことを改め
て認識し、力強い励ましを
受けた経験があります。

岡山支部は中国の文化
を紹介する活動や、逆に
在岡の中国人に日本の文
化を紹介することなど、多
彩できめ細かな活動を生
もうと努力しています。こ

これらの活動を通して親し
くなった中国の友人の多く
から、現在の日中の政治状
況を心から憂えることば
が聞かれます。私たちは、
この人たちを真の友人とし
て、運動のいつそのうの前
進を図らねばなりません。

昨年の師走、岡山支部か
ら倉敷在住の会員の人が
ちが新たな支部を結成し
ました。これを第一歩とし
て、さらに大きな展望と
組織を生み出すことが必
要です。

どうか、会員みなさん
の一人おひとりの力を、お
貸しください。会員や新聞
読者を増やすことに、ご
協力ください。そして活動
に参加する方々、お誘い
ください。

理事会の討論のなかか
ら、訴えをさせていただき
ました。

倉敷支部

二月から本格始動
皆さんのご意見 ぜひご投稿を

468

2006/02/05

昨年の十二月三日に発
足総会を開き結成された
倉敷支部は、この二月か
ら本格的な活動を開始し
ます。活動の方針は先号
ニュースでお伝えしたとお
りです。

新しい旅立ちにあたって、倉敷
会員の皆さんのご意見などを、
ぜひご投稿ください。

投稿先は、岡山支部へお願いし
ます。

日中友好協会 倉敷支部

連絡先*〒712-8014

倉敷市連島中央4-8-4

宮地義男 方

電話・Fax 086-446-2711

短信

第40回「建国記念の日」を考える県民のつどい

中国「残留孤児」問題を考える講演

講師*小林軍治氏(中国残留孤児訴訟を支える会事務局長)
講師*近藤 剛氏(中国残留孤児訴訟弁護団副団長)

とき* 06年2月11日(土) 13時半～16時半

ところ*岡山大学法文経講義棟 19番教室

参加費*500円(学生300円)



《天下の奇祭 西大寺の会陽
はだか祭りへ》行きましょう!

とき* '06年2月18日(土)

行き先*西大寺観音院 はだか祭りへ

集合*①岡山駅西口 午後8時

②西大寺駅 午後8時50分

(岡山駅発8時36分の電車にそろって乗車します。途中か
ら乗車する人は時間を見計らってご乗車ください。
中国人たちといっしょに参加します)

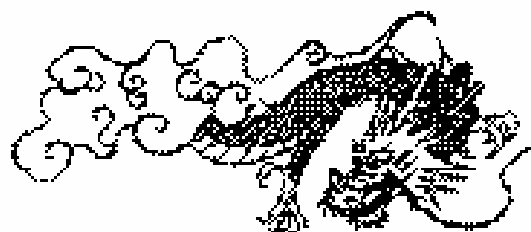
参加費*1000円(交通費は別。医療生協での
おでんなどの夜食費にあてます)

《中国「残留」孤児訴訟 第8回口頭弁論》へご参加を

午前と午後に分れて「残留」孤児原告の本人尋問(喜多川さん、杉山さん)です。
長い時間の裁判となりますが、ぜひご参加ください。

とき、06年2月15日(水) 午前10時30分から午後4時まで

ところ 岡山地方裁判所 *集合 9時40分岡山弁護士会館南横の広場



春ちゃんが来たよ！

孤児三世 入門クラスへ

春ちゃんが中国語講座の旭公民館入門クラスにやってきました。春ちゃんといっても、お分かりにならない人も多いでしょう。一昨年のニュースで、春ちゃんが話題になったいきさつはこうでした。

○三年十一月、京都であった「人権・平和・民主主義を考える全国高校生集会」で、倉敷市立工業高校の生徒たちが、『残留「孤児三世」』を主人公にした演劇を発表しました。孤児のことなど自分たちとは遠い世界のことだと思っていた山陽女子高校の放送部のみなさんは、これを見て強い衝撃を受けました。その上に、自分たちの学校にも同じような人がいるとわかり、さらに驚きました。この話で作った番組を制作。昨年のNHK杯全国高校放送コンテストへ出品しました。岡山県

予選で4作のうちに選ばれて東京の本選に出たのです。そして、見事に全国コンクールで製作奨励賞を受賞しました。

春ちゃんは、おばあちゃんが「残留」孤児。四歳のときに帰国して苦勞をしながら、日本の学校に通い、今、二年生に在学しています。このお話の主人公「春ちゃん」が、なんと中国語を学びに旭公民館の入門クラスへやってきたのです。きれいな発音の中国語に、同級生はただ感心するばかり。春ちゃんの家庭で中国語が話されるのは当たり前ですが、新に中国語を学び直すという姿勢に、入門クラスの同学（同級生）には、撃たれるものがありました。こんなところからも、日本と中国のほんとうの交流がすすんで行くですね。

若者のお話 二題

中国語講座から



中国語講座入門クラスにやって来た春ちゃん(中央)

二年学んだ高校生 南京大学へ留学

初級の仲間が盛大に送別会

いうでした。

旭公民館で二年間、しっかりと学んだ高校生前原さんが、このほど高校を卒業。二月から、南京大学へ留学することになりました。これ聞いた初級の同級生たちが、送別会を開きました。

同学（同級生）は全員が出席して、彼女の前途を祝福し、温かいエールを送りました。この日は、06年の過年（中国では、春節と名づけて旧暦の正月を祝う。その前日を過年と

現在の講師、郭志華老師はもちろん、もて同学の人も出席して、全員十二人の盛大で賑やかな会になりました。同学のみなさんは、若い彼女の勇気のある決断を、一様に驚きと感心と賞賛で迎えました。クラス全員がそろつての出席は、その現れでしょう。

いちばん彼女に聞きたかったのは、どうして中国への留学を決意したかということでした。

彼女の回答は、常日頃中国の歴史を持つ伝統や文化に触れるたびに、憧れのようなものが生まれてきたというものでした。親には反対されなかったのかという質問には、最初は反対だったが話していくうちに、自分の気持ちが変わって貰えたという答えでした。

この彼女の勇気に、参加者全員が驚きと賞賛の声が多く出されました。中国で学んだものを、帰国したらぜひ教え

日中友好協会岡山支部

《HP 新アドレス》

<http://rizhong.web.infoseek.co.jp/>

《新Eメール》

rizhong86@hotmail.co.jp

書 評



王敏『中国人の愛国心』
(PHP新書・05年10月刊七〇〇円)

竹内 和夫

202ページの小さい本ですが、日本大好きな王敏さんが中国人の心を伝えようと熱心に語ります。Wang Min女士は1954年生まれ、1982年に国費留学生として日本に来ました。いまは法政大学教授で、専門は日中異文化研究です。

中国人の精神構造を愛国、歴史、徳、中華、受容と抵抗という5つのことばで説明しようという試みです。中国人とはだれのことと開きなると先へはすみません。漢民族を純粋に定義しようと思っても、それは難しいと書いています。それから国民性とか民族性とかは疑わしいもののような感じがします。

朝日(、05・11・21)の自己紹介によると「日本研究の出発点は宮沢賢治との出会いだった。文化大革命がおわって間もない1979年、雨ニモマケズ…の素朴な美しさに圧倒された」そうです。

第1章の愛国のところで、日本に大和魂があるように、彼らには中国魂がある。それが愛国心だには恐れいりました。愛国イコール反日ではない。中国人は、外国と仲良くすることもまた愛国であると教えられている(45ページ)と言います。

第2章の歴史も重い課題です。歴史は過去のものではなく、現在に活かすべきものなのだ。それが中国的な考え方である(69ページ)とあるが同感。日本人もそう考える方がいいでしょう。また、今後もずっと中国側からはA級戦犯と侵略戦争の問題が持ち出されるはずだ(77ページ)と。なぜかをとく例として南宋の秦檜が出てきます。

第3章の徳では文化の力を重んじる中国的精神が紹介される。武力は野蛮なこと、孟子の王道・仁政や老子の勝つて美しくない」という暴力否定の

伝統があるという。日本に対して、執拗に戦争への反省」を求めるわけは、このにある。

第4章の中華も、いろいろと問題を提示します。別の機会に紹介する。多民族国家・中国(岩波新書)は、中華思想」という和製漢語によって一部の日本人は誤解していると書いている。——自らを世界の中央に位置するとする傲慢な発想——のように。王敏さんは中華という概念を文化・文明について語られるものと考えておられる。中国文化と聞いて思い浮かべるのはなにかという意識調査(114ページ)で第1位は四大文明、第2位は孔子以下、3歴史、4万里の長城、5文字などにつづく。日本人なら『国志』や『史記』をあげるかもしれないが、だいたい意識にずれがある。

第5章受容と抵抗。新しい文化を生まない最悪の文化大革命という見出しの一節を引用して紹介をおわろう。知識を持てば持つほど罪が大きくなるというわ、大学はすべて中止された。当時、私は高校生だったが、高校生も小さな罪をもつ人間とされていた。教育が滞り、知識を持つことが罪であるとみなされるような国は、文明を失う。この時期に、中国はきわめて不毛な状態となつてしまったのだ」

「06・1・29」

次回の新聞送付作業は

2月13日(月) 1時半から

民主会館で行ないます。

前回お手伝いくださいった方々です。

